

# 東京連絡会 ユース

2005.8.25

No.99

10月1日  
(土)  
報告集会は

大気汚染測定運動東京連絡会  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿2-13-3 軽部ビル201  
TEL・FAX 03(3358)8489

NO<sub>2</sub>カプセル測定のとりくみを交流しましよう

## 10月1日(土)に 測定結果報告集会

《午後1時～5時、渋谷区消費者センター》

2005年6月2日～3日、56回目のNO<sub>2</sub>全都いっせい測定が行なわれました。参加いただいた全ての皆さんに厚くお礼申し上げます。中間の報告として2kmメッシュ定点測定の結果を5頁以降に掲載しました。また10月1日(土)午後には東京全体の報告集会を開催します。今回は久しぶりに東京大気汚染裁判をテーマにシンポジウムを行ないます。多くのご参加をお待ちしています。

報告集会の詳細  
は別紙チラシを  
ご覧ください



次回のNO<sub>2</sub>全都いっせい測定は  
12月1日(木)～2日(金)

- » 第55回報告集会と二つの受賞を祝う会 ..... 2
- » 東京都のディーゼル車規制の効果に関する  
報道発表について申し入れと記者会見 ..... 3
- » 第56回測定・2kmメッシュ結果 ..... 4～8

## この間のできごと 2005年4月～7月

### ► 4月2日(土)

#### 第55回測定の報告集会と 「二つの受賞を祝う会」を開催

この日午後、渋谷区消費者センターで第55回（2004年12月2日～3日）全都いせい測定結果報告集会と、昨年度に東京連絡会が受けた二つの受賞を祝う会を開催しました。報告集会は98名、祝う会は53名の参加で大変盛況でした。ご参加・ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

報告集会では、東京全体の結果報告に続き、各地域・団体10名の方から活動報告や問題提起がありました。（紙数の都合で以下にお名前だけ紹介します。西東京市・若林京子さん、目黒区・富田悦哉さん、北区・松本節義さん、世田谷区・田中貞さん、港区・権上かおるさん、中央区・椎葉紀夫さん、東京南部生協・遠島さん、大田区・野口春子さん、アセス都民連・渡辺章さん、臨海部都民連・中

#### 野幸則さん

続く二つの受賞を祝う会は、デュエット・エスペランサの二人によるアルパとギターのラテン音楽で始まりました。次に来賓として、「ノーモアミナマタ環境賞」受賞について尾崎俊之さん（水俣東京弁護団）と小池信太郎さん（公害地球懇）から、また「東京弁護士会人権賞」受賞について推薦者である三鷹環境市民連の荒川賢一さんから、それぞれ挨拶をいただき、乾杯しました。

その後、渋谷区生活学校の皆さん手作りの料理をいただきながら、参加者それぞれが思いを語ったり自己紹介するなどして「みんなで祝う会」の趣旨のとおり和やかに進行しました。



### ► 6月19日(日) 共同分析会

今回は新宿区四谷地域センターで分析会を開催。三多摩地域からも含め40名以上の方が参加しました。

(写真提供 中央区連絡会・椎葉さん)



パソコンによる測定データの電子化・地図化の取り組みが各地で進んでいます。中央区日本橋では、4月の報告集会で紹介された目黒区の手法を参考に、汚染マップ作成が行なわれました。東京連絡会では今年からメーリングリストを開設し情報の交流を進めています。参加申込み・問合わせは事務局の国府田（こうだ）まで。

► 7月26日(火)・27日(水)

## 都のディーゼル車規制の効果に関する報道発表について、申し入れと記者会見

6月24日、東京都環境局は2004年度の大気汚染状況を発表し、ディーゼル車規制によって前年度に比べ汚染状況が大幅に改善したと強調しました。

これに対し東京連絡会が検討を行なったところ、2004年度は風速が過去10年間の中で突出して強く、その影響が大きいと思われました。東京都の今回の発表はそれらを全く考慮せず客観的なものと言えないため、7月26日、連絡会での検討過程を資料として添え、次の4項目を東京都に申し入れました。

\*

(都への申し入れの骨子)

**1** 6月24日の発表内容に対して、平成11年度の時と同じように、大気汚染測定結果検討会を設置して、気象条件などを考慮して再検討を行うこと。

**2** これまでのディーゼル規制の効果に関する発表に対して、大型ディーゼル車の交通量、トラックの台数構成、東京の工業生産の構造変化などを考慮して再検討を行うこと。

**3** 「自画自賛」の規制効果の強調に陥らない政策評価を実施すること。

**4** 我々の調査結果から、都内の自動車交通量を削減することが緊急に求められている。ロードプライシングなど交通需要抑制政策を速やかに実施すること。

\*

27日には都庁記者クラブで会見を開き

毎日新聞 7月28日朝刊 都内面

SPM濃度大幅改善に

## 市民団体が都に異論

### 「風速や走行台数減少の影響」

都が、ディーゼル車規制の効果で大気中の浮遊粒子状物質(SPM)の量が激減したと発表したことについて、市民団体

は単に規制の成果というより、風速や走行台数の減少に由来する部分が大きいとの見解を明らかにした。前日には「自画

にしたという。前日には「自画自賛に陥らない政策評価を考慮した再検討」を求め定局47局すべてのSPM

は47局、24局だったのに比べ「大幅に改善した」と説明し、石原慎太郎知事は「ディーゼル車規制の効果」と強調した。これに関して、同会は

▽大気汚染濃度は風速が強ければ低下する。最近

10年間の東京の平均風速

は秒速3・3mだが、04

の数値が環境基準を達成したと発表した。前年度、基準に達したのがそれぞれ4局、24局だったのに比べ「大幅に改善した」と

Mはディーゼル車規制が始まる03年10月以前から影響と考えられる△SPMはディーゼル車規制がして高く、SPMの濃度が低くなったのは、それが4月、24局だったのに比べ「大幅に改善した」と

している——などと指摘している。

同会は78年の発足以來、毎年6月と12月に都内約1万5000カ所で大気汚染の測定を続けて

いる。

【高木諭】

申し入れ内容を説明しました。翌28日に上のとおり毎日新聞で報道されました。

申し入れ内容・資料の全文は10月1日発行の測定結果報告書に掲載します。

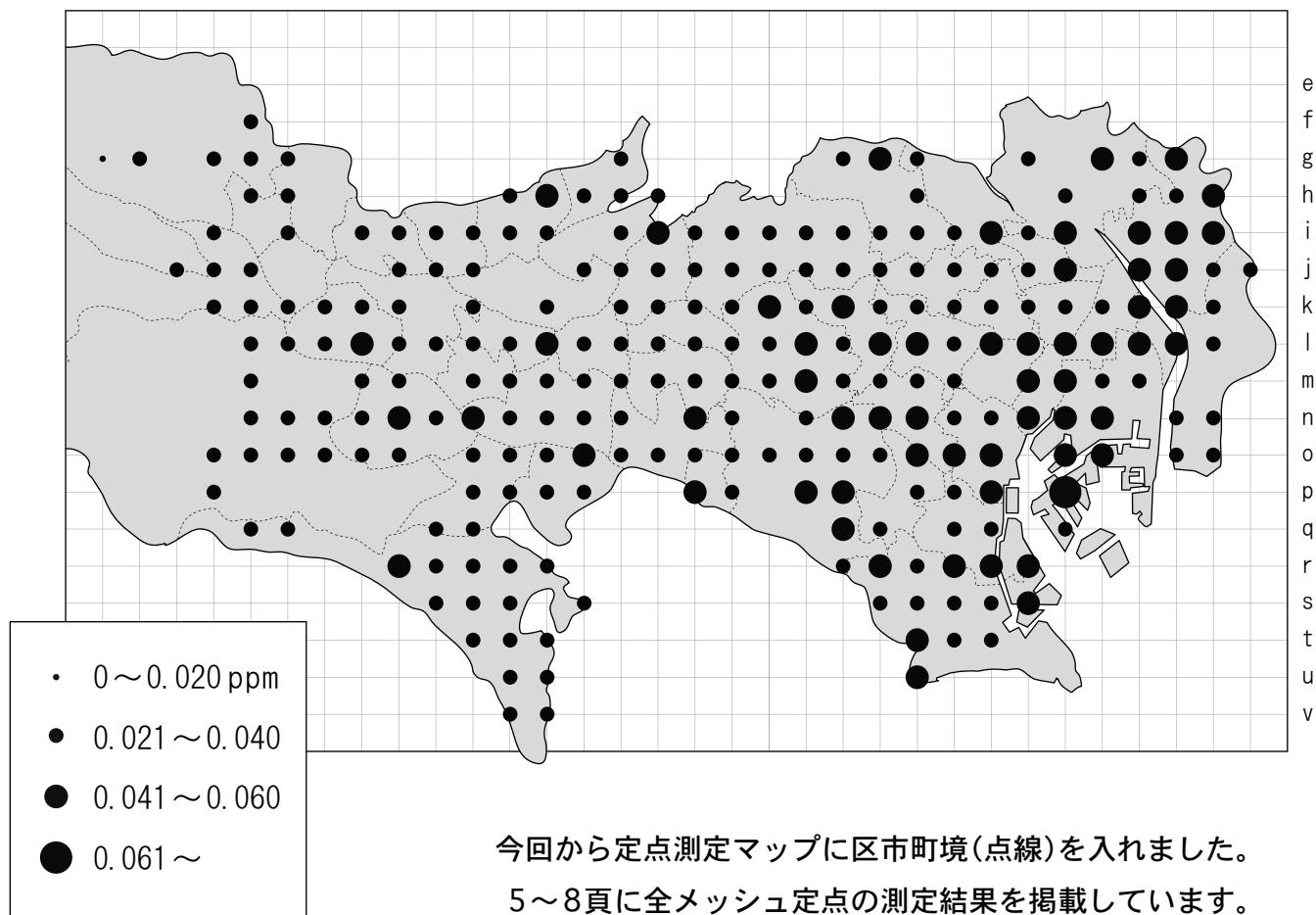
## 第56回測定(2005.6.2～3)の集計状況

2kmメッシュ定点測定の結果がまとまりました  
全都の結果は、現在集計を進めています

6月2日(木)～3日(金)に行なわれた第56回全都いっせい測定では、いつもと同様、多くの方々に参加・協力をいただきました。全都のカプセル配布数は15,000個余りで、そのうち12,300個以上が実際に測定に使われ、現在事務局で東京全体の集計作業を進めています。先に2kmメッシュ定点の結果がまとまりましたので、以下ご紹介します。

2005年6月2日～3日 NO<sub>2</sub>東京2kmメッシュ定点測定マップ

32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



定 点 数	307 ケ所
測 定 数	249 ケ所
測定割合	81.1 %

全都の平均値 (ppm)	0.036
区部 "	0.039
多摩 "	0.033

最大値 (ppm)	0.062 (江東区有明)
中央値 ("")	0.035
最小値 ("")	0.020 (青梅市梅郷)







